

「当期の税額計算結果から自動計算」の計算式

「法定実効税率(注記用)」タブの「当期の税額計算結果から自動計算」は、下記の通り計算します。

1. 法人税分の税率（a）の計算

$$\text{法人税分の税率} = \text{『法人税額』} \div \text{『所得金額又は欠損金額』}$$

※小数点以下第7位以下の端数は四捨五入します。 0.1234567 → 0.123457

※『』の項目は、「当期の税額計算結果確認画面」の「所得金額・税額」タブの項目です。

2. 事業税等分の税率（b）の計算

$$\text{事業税等分の税率} = \text{『事業税所得割額』} \div \text{『課税所得金額又は欠損金額』}$$

※小数点以下第7位以下の端数は四捨五入します。 0.1234567 → 0.123457

※『』の項目は、「当期の税額計算結果確認画面」の「所得金額・税額」タブの項目です。

3. 事業税（所得割）の標準税率（c）の計算

$$\begin{aligned} \text{事業税（所得割）の標準税率} &= \text{『特別法人事業税額(所得割)』} \\ &\div \text{『課税所得金額又は欠損金額』} \\ &\div \text{当期の特別法人事業税} \end{aligned}$$

※小数点以下第7位以下の端数は四捨五入します。 0.1234567 → 0.123457

※『』の項目は、「当期の税額計算結果確認画面」の「所得金額・税額」タブの項目です。

4. 各税目の実効税率の計算

(1) 「全体」の実効税率の計算

$$\begin{aligned} \text{全体の実効税率} &= (a \times (1 + \text{当期の地方法人税率} + \text{当期の防衛特別法人税率}) \\ &\quad + (a \times \text{当期の住民税率}) + b \\ &\quad + (c \times \text{当期の特別法人事業税})) \\ &\div ((1 + b) + (c \times \text{当期の特別法人事業税})) \end{aligned}$$

※企業グループ情報の「実効税率の有効桁数」の設定に応じて、端数を四捨五入します。

※地方法人税、防衛特別法人税、住民税及び特別法人事業税については、軽減税率がないため、マスター・R Pで設定された税率をそのまま使用します。

(2) 「法人税分」の実効税率の計算

$$\begin{aligned} \text{法人税分の実効税率} &= a \\ &\times (1 + \text{当期の地方法人税率} + \text{当期の防衛特別法人税率}) \\ &\div \{ (1 + b) + (c \times \text{当期の特別法人事業税}) \} \end{aligned}$$

※企業グループ情報の「実効税率の有効桁数」の設定に応じて、端数を四捨五入します。

(3) 「住民税分」の実効税率の計算

$$\begin{aligned} \text{住民税分の実効税率} &= (a \times \text{当期の住民税率}) \\ &\div \{ (1 + b) + (c \times \text{当期の特別法人事業税}) \} \end{aligned}$$

※企業グループ情報の「実効税率の有効桁数」の設定に応じて、端数を四捨五入します。

※住民税及び特別法人事業税については、軽減税率がないため、マスター・R Pで設定された税率をそのまま使用します。

(4) 「控除対象通算適用前欠損調整額等」の実効税率の計算

$$\begin{aligned} &\text{控除対象通算適用前欠損調整額等分の実効税率} \\ &= \text{当期の住民税率} \\ &\div \{ (1 + b) \\ &\quad + (c \times \text{当期の特別法人事業税}) \} \end{aligned}$$

※企業グループ情報の「実効税率の有効桁数」の設定に応じて、端数を四捨五入します。

※住民税及び特別法人事業税については、軽減税率がないため、マスター・R Pで設定された税率をそのまま使用します。

(5) 「事業税等分」の実効税率の計算

$$\begin{aligned} \text{事業税分の実効税率} &= b + c \times \text{当期の特別法人事業税} \\ &\div \{ (1 + b) + (c \times \text{当期の特別法人事業税}) \} \end{aligned}$$

※企業グループ情報の「実効税率の有効桁数」の設定に応じて、端数を四捨五入します。

以 上